

平成30年度森林土木研修会を開催しました。

当協会では、平成31年1月10日（木）に福島市の福島県建設センターにおいて森林土木研修会を（公社）福島県森林・林業・緑化協会との共催で開催しました。

当日は、協会会員のほか、福島県や市町村の職員など約60名の参加をいただき実施しました。



水戸専務理事あいさつ

初めに、両協会を代表し、水戸典明（公社）福島県森林・林業・緑化協会専務理事があいさつを述べたあと、福島県農林水産部農林技術課主査 松岡武史氏を講師に、「森林土木事業における施工パッケージ型積算方式の実習」について講義を受けました。

講義の内容は、福島県が平成29年7月より導入している施工パッケージ型積算方式について、昨年引き続き施工パッケージ型積算方式の演習を実施しました。

次に、福島県農林水産部森林整備課主幹 鈴木孝氏を講師に、福島県で進めている「航空レーザ測量を活用した林業専用道整備」について講義を受けました。

講義の内容は初めに「森林と路網整備の状況」及び「作業システムと路網」を説明いただき、「航空レーザ測量」について豊富な資料により分かりやすく解説していただきました。



松岡氏の講義



鈴木氏の講義

今回の研修は、受注者と発注者が一堂に会し、森林土木事業に係る最新の状況等について学習するとともに共通の認識を得ることができ、大変意義のある研修となりました。今後も、森林土木事業の適切な実施に資するよう、より一層充実した研修を企画したいと考えておりますので会員の皆様の御協力をお願いいたします。